

『その品格に反抗を』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『その品格に反抗を』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『その品格に反抗を』を読んだことのある10代～50代の男女22名
調査期間	2025年11月19日～2025年11月21日 2026年1月12日～2026年1月13日 2026年4月21日～2026年4月22日 2026年6月16日～2026年6月17日 2026年8月11日～2026年8月12日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/sonohinkakunihankouwo/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『その品格に反抗を』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	1人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	4人
30代女性	0人
40代男性	10人
40代女性	6人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2:『その品格に反抗を』の感想を教えてください。

『その品格に反抗を』1話～10話	クロエが可哀そうになりました。自分だったらストレスで胃に穴をあけていそうです。そもそも実家が没落したのは自分の足が原因なわけですし、それ自体がなかなかのストレス。その上妹のアリスがあのようなのですから、どうにもなりません。結果ティセ公爵に弱みを握られる形になってしまいましたし、悩みまくるのも無理はありません。クロエが幸せになれる日は遠そうで不憫に感じました。
『その品格に反抗を』1話～10話	この作品のヒロインクロエがすごく可愛いですね。足が不自由なので、そういうちょっと病弱的な雰囲気もクロエの魅力に繋がっていると思います。因縁の相手デミアンと出会い関係が進展していく姿にクロエの内面がかなり映し出されているようで、どんどん彼女を応援したい気持ちが高まります。クロエがどんな選択をしてデミアンとより良い関係を紡いでいくのか必見ですね。
『その品格に反抗を』1話～10話	中世の雰囲気がとても丁寧に描かれています。次女のアリス、長女のクロエが特に好き。ただ美人なだけではなく、きちんと性格の違いを書き分けているのが良かったです。そして公爵の存在。憎しみと好意という、相反する感情を抱いてしまうのがハラハラします。物語はスローペースではありますが、むしろこっちのほうが読みやすいです。
『その品格に反抗を』1話～10話	いろんな女性マンガによくあるひどい目を受けていた主人公、というわけではなく、もともと体が不自由という設定です。この設定が少し珍しく、他の漫画の主人公にはないような魅力がありました。クロエは家族思いですし、凛とした女性です。自分を卑下するような性格ではありますが、言いたいことはきちんと伝えますし、周りを優先して行動するようなお人好しな部分が、公爵の好みに合ったのでしょうか。イラストもきれいですし、これは期待できそうです。
『その品格に反抗を』11話～20話	クロエが家の借金をどうにかするため自ら奮闘する姿が本当に健気で魅力的すぎますね。もし自分がクロエと同じ立場で足が不自由だったら、そんな考えには絶対に至っていないと思うのでよりクロエには感服せざるを得ません。そもそも借金があることが、全てを狂わせた元凶のような感じなのでこれをなんとかして早くクロエには自由になってほしいという気持ちが見ていて高まります。
『その品格に反抗を』11話～20話	アリスは初登場時から、決して悪い子ではないのだろうけど姉のクロエとは違って思慮の浅さが目に付くなど感じていたので、なにか問題を起こすのではないかとハラハラしていましたが、まさかの妊娠、そしてカケオチというあまりに身勝手な行動に愕然としてしまいました。残されるクロエや父親のことはもちろん、貴族の娘という責任ある立場でありながら、領民たちへ及ぶ影響すら考えていなさそうなアリスに、モヤッとした気持ちを抱きました。
『その品格に反抗を』11話～20話	妹が出ていっても、それを咎めるのではなく、信じてあげるなんて、ちょっとクロエは人間が出来すぎています。さらに、父親がショックで倒れたと思ったら、父親を安心させるように、アリスを信じていること、大丈夫であることを伝える気の利きようです。さらに、公爵家に自分が話をつけに行くという行動力もあります。さすが主人公。そして、尋ねた先には、前髪をおろしてはだけた公爵が待っていたと。クロエも魅力的ですが、やっぱり公爵の色気がやっぱいいですね。オフの姿の公爵は、さらに色気が倍増していました。
『その品格に反抗を』21話～30話	クロエに対して意地悪な言動を繰り返すデミアンが本当に厄介だと思います。ですがその行為の裏には何か真実が隠されていそうな感がビンビン感じられるので俄然目が離せません。個人的に食事のシーンでデミアンとクロエが時を共にしている姿がいいですね。二人の心の距離感を示唆しているようでなんだか緊張感が高まりました。
『その品格に反抗を』21話～30話	これほどクロエが有能だとは思いませんでした。政治をさせても有能とは。確かに美人ではありますが、デミアンはクロエのこういう一面も、最初から見抜いていたのかもしれませんが。そう考えると、デミアンの先見の明はかなりのものですね。今後は、イチヤイチャだけでなく、クロエが政治を動かすような場面があっても面白いかも。
『その品格に反抗を』21話～30話	クロエに対していつも彼女をバカにしているかのような態度を取るわりに、クロエのほうからキスするように仕向けたり、クロエにやきもちを焼かせようとしてみたり、ティセ公爵の言動がどうにも「好きな子の気を引きたいってイジワルしてしまう少年」のようにしか見えなくて、傲慢で嫌味な男性だと思っていましたが、意外と子どもっぽくて可愛げがあるんだなと感じました。

『その品格に反抗を』31話～40話	デミアンがクロエに対してどんどん積極的になっているのが伝わってきました。デミアンは強気でずっと上から目線なのですが、クロエがいなくなることに怯えているようにも感じられます。さらに外で人がいつ来てもおかしくないところでデミアンがクロエを抱いたりするなど、刺激的なシーンが多かったのも印象的でした。純愛とは言えないけれど、二人はずっと一緒にいる運命なんだと思いました。
『その品格に反抗を』31話～40話	今まで散々クロエに対して意地悪行為を展開してきたデミアンでしたが、ようやく彼のデレの要素が随所で垣間見えるのでそこが本当に素敵でした。今までかなりのフラストレーションが溜まっていたので、少しの飴玉でめちゃくちゃ甘いという感覚を抱けましたね。クロエが早くデミアンに愛されているということを素直に実感できる場面が来ることを強くの望みます。
『その品格に反抗を』41話～50話	ティセ公爵との仲がこのまま上手いくのかなと思えた矢先に、彼が自分を手に入れるために巡らせた非道な策略のことを知ってしまったことも、その後せつかく宿った新たな命を喪ってしまったことも、とにかくクロエが辛い目に遭う展開の連続で、胸が苦しくなりました。クロエへの愛は伝わってくるものの、あまりに自己中心的すぎるティセ公爵には、クロエの復讐を受けて反省して改心してほしいです。
『その品格に反抗を』41話～50話	ついに結ばれた二人。しかも、たとえ男の子が生まれようとも女の子が生まれたとしても、性別に関係なく第一子に姓も爵位も授けよう。そんなデミアンの覚悟もあったのに少しずつ遠ざかっていく二人の心に悲しみも深まらんばかりです。でも子が誕生すればかすがいいになってくれるかと思いきや、クロエはなんと伝染病になってしまい、更には流産。さんざんな目に遭ったからこそデミアンの良さが分かる。ようやくクロエの心も近づいてきて、と思ったらクロエが亡くなってしまうなんて。衝撃的過ぎる展開の数々です。
『その品格に反抗を』51話～60話	クロエが死んでしまったということに酷く打ちひしがれていたデミアンでしたが、彼女がひょっとしたら生きているのかもしれないと気づく展開が本当に面白いですね。墓まで掘り起こしてデミアンの執念が身を結ぶ感じで先が気になってしまうこと間違いなしです。この作品は本当にすごくワクワクさせる流れに持っていってくれるのでより物語への没入感を高めてくれます。
『その品格に反抗を』51話～60話	クロエを失ったと思って憔悴しきった姿から一転、彼女が生きている可能性に気が付いたとたん、なんとしてでもクロエを探し出そうと動き始めたティセ公爵の鬼気迫るような姿がとても印象的でした。クロエの心の平穏のためにはティセ公爵と離れたほうが良いでしょうが、彼女に執着しているティセ公爵から逃げられるとも思えないので、どうにか丸くおさまっしてほしいです。
『その品格に反抗を』61話～70話	本当にこの作品はメインキャラの描き方が上手すぎますね。中でもデミアンのミステリアスな雰囲気が好きです。クロエに対して随所に見せるあの不敵な笑みの意味がすごく気になって仕方ありません。個人的にデミアン、クロエの会話の攻防戦がとても面白いです。セリフの一つ一つに裏の意味がありそうな感じで、より深読みしながら二人のやりとりを見てしまいます。
『その品格に反抗を』61話～70話	本当にこの作品は読めば読むほどクロエとデミアンがすれ違って行くのでそこがかなり面白いですね。なかなか心のうちを明かそうとはしないクロエに対して、もどかしい気持ちを露わにするデミアンのやりとりがとても興味深いです。個人的にデミアンの強気な姿勢がクロエの心を閉ざしているようにも見えてしまいますね。もっと優しく話したら彼女も素直になりそうです。
『その品格に反抗を』71話～80話	作中、ヨハンに立ち向かうデミアンがすごく格好良く見えました。今までにはちょっと堅物でとっつきにくいイメージでしたが、この場面でデミアンの株がぐんと上がったように見えますね。多分、その背景にはクロエのことを諦めたくはないという強い気持ちがデミアンの中にあるって、あのような勇ましさに繋がったのだと思います。よってデミアンの格好良さを再認識させられました。
『その品格に反抗を』71話～80話	作中に出てくるヨハンの狂気さにすごくドキドキ感が増しました。あんなキャラを野放しにしていたら、どんなことをされるかわかりませんよ。案の定、クロエが大ピンチになってしまうので本当に目が離せませんでした。でもデミアンがいることで、なんとか危機を脱することができて本当に良かったです。デミアンの咄嗟の行動の数々が本当に男前で最高のアクションでした。

『その品格に反抗を』81話（最終回）	クロエ、デミアンだけでなく他のモブキャラたちもそれぞれの幸せを手に入れるという、理想的な最終話だったように思えました。特にデミアンは今まで荒々しかったのが嘘のように、クロエに対して紳士的な態度になっているところにギャップ萌えを感じました。この二人ならずと幸せに過ごせるだろうという安心感があり、読んだあとに心があたたかくなりました。
『その品格に反抗を』81話（最終回）	流産という辛い経験をしたクロエが双子を産み、ティセ公爵と幸せそうに寄り添う姿を見て、これまでのクロエの苦労や努力が報われたように感じられ、思わず感動してしまいました。また、物語序盤でどこの誰とも知れぬ男性とカケオチなんていう無謀なことをやらかしたアリスも最終的に幸せになり、クロエの性格上アリスが不幸になってしまうと罪悪感を抱き続けてしまいそうなので、良かったなと思いました。

漫画全巻の部屋
by (株)グリュックス